



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3345		
科目名	英語プレゼンテーション 1		
担当教員	加納 奈保子		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 1		
講義室	1407	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E （学識・専門技能） 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 4－F （探求力・課題解決力） 問いを設定しまたは論点を特定し、それに対する答え・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4－I （理解力・分析力） 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 6－K （表現力・対話力） 文章および口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学術・専門技能（30%） F 2 課題解決（20%） I 3 情報分析（20%） K 2 オーラル・コミュニケーション（30%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	本授業は2年次までに滋養された基礎的なプレゼンテーションのスキルをもとに、危機管理の専門家に求められる国際的発信力を高めることを目的としています。授業では、自分の考えや提案を効果的に相手に伝える5つのプレゼンテーションモデルを学修します。危機管理をテーマにした実際のプレゼンテーション動画を授業内で見たり、プレゼンテーションの際に役立つ定型表現を学習したりしながら、段階的に自身の関心のある危機管理のテーマに沿った簡単なプレゼンテーションを作成し、発表練習します。また、発表するだけでなく、プレゼンテーションを聞く側としても参加することで、プレゼンテーションに対する多角的なスキルをトレーニングします。 はじめの数回の授業では、プレゼンテーションの基本を学びなおすことが出来ますので、受講者の学習レベルは問いません。授業形態は演習形式となります。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 （キーワード）国際的発信力・危機管理・プレゼンテーションの5つのモデル		
授業の趣旨	■ 副題 危機管理をテーマにした英語プレゼンテーションスキルを身につけよう！ ■ 授業の目的 国内外の危機管理の分野で活躍するためには、英語による発信力を高めることが不可欠です。本授業は、危機管理に関する自身の考えや提案などを的確かつ効果的に相手に伝えられるプレゼンテーションのスキルを学修します。具体的には、プレゼンテーションの5つのスタイルを学びながら、危機管理の専門家による英語プレゼンテーション動画を参考にして、実際に自分でも関心のある危機管理のテーマについて英語で発表することができるようにします。英語に限らず、人前で発表する際に求められるプレゼンテーションのコツを学ぶことができます。 ■ 授業のポイント 英語によるプレゼンテーションは、日本語のプレゼンテーションを英訳したものとどまっている場合や、方法がわからず戸惑うケースが目立ちます。そこでこの授業では、英語のプレゼンテーションを		

	informative presentationとpersuasive presentationという視点から5つのスタイルをテキストを通して学び、また、危機管理の専門家の実際のプレゼンテーション動画を教材にしながら、自身のプレゼンテーションのスキルを高める表現力や語彙力を身につけていきます。	
総合到達目標	■自身の専門分野である危機管理のテーマについて英語でプレゼンする際に、的確かつ効果的に自分の考えを相手に伝えるためのプレゼンテーションスキルを修得する。 ・プレゼンテーションの基本構造、情報倫理を説明できる。(第2回～5回) ・Informative presentationとは何か説明できる。(第6回) ・列挙型プレゼンテーションとは何か説明でき、自身で簡単な列挙型プレゼンテーションを行うことができる。(第6～7回) ・分類型プレゼンテーションとは何か説明でき、自身で簡単な分類型プレゼンテーションをすることができる。(第8～9回) ・プロセス型プレゼンテーションとは何か説明でき、自身で簡単なプロセス型プレゼンテーションをすることができる。(第10～11回) ・Persuasive presentationとは何か説明でき、自身で簡単な説得型プレゼンテーションをすることができる。(第12～13回) ・問題解決型プレゼンテーションとは何か説明でき、自身で簡単な問題解決型プレゼンテーションをすることができる。(第14～15回) ・プレゼンテーションで用いる基本的な表現が身につく。(第1回～15回) ・危機管理をテーマにした専門家のプレゼンテーションについて、プレゼンテーションの仕方という観点から分析・評価することが出来る。(第6回～15回) ・危機管理をテーマにした簡単なプレゼンテーションドラフトを作ることが出来る。(第7,9,11,13,15)	
成績評価方法	■適用ルーブリック E1 30% F2 20% I3 20% K2 30% ■授業参加度 70% (E1, F2, I3, K2) (評価基準) 授業のアクティビティに意欲的に参加しているかをはかります。 ■課題 30% (E1, F2, I3) (評価基準) ドラフトを期限までに提出したか、テーマに沿った内容であったか、授業で学修した語彙や表現が用いられているか、PPTの出来をはかります。 (フィードバック方法) 提出期限ごとに採点し、評価を伝えます。	
履修条件	英語I～VIIIを履修済み、あるいは、認定済みであること。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の内容や進行方法、扱うテーマ、教材の開設、受講生が目指す到達点、評価方法について説明を行う。(E1 K2) ③予習 (60分) シラバスを読んでおく。また、簡単な自己紹介を英語で行う準備をしておく。 ④復習 (60分) 授業についての説明を見直し、履修登録を済ませる。また、テキストの手配をしておく。危機管理をテーマにした英語プレゼンテーションをネット上で探し、視聴する。
	2	①授業テーマ プレゼンテーションの基本構造とスキルの確認 ②授業概要 Unit 1 プレゼンテーションの構造 および Unit 2 姿勢、アイコンタクト、話し方などのプレゼンテーションのスキルについて確認し、実際に練習する。(E1 K2) ③予習 60分 テキストを購入しておき、9頁を答えておく。 ④復習 60分 プレゼンテーションの基本構造についてのテキスト11、18頁を音読する。また、危機管理の関心のある文献を調べておく。
	3	①授業テーマ プレゼンテーションの情報収集と情報倫理 ②授業概要 Unit 3 プレゼンテーション作成のための情報収集の方法と順守すべき情報倫理を説明する。危機管理の文献を引用した他者紹介プレゼンテーションをする。(E1 F2 I3 K2) ③予習 (60分) テキストの19頁を解いておく。 ④復習 (60分) 危機管理の文献を引用した他者紹介プレゼンテーションをフィードバックをもとに改善する。
	4	①授業テーマ プレゼンテーションの環境の準備 ②授業概要 Unit 4 プレゼンテーションの目的に合わせたフロアの使い方、視覚情報の提示の仕方を説明する。(E1 F2 K2) ③予習 (60分) テキストの25、26頁を読んでおき、プレゼンテーション環境について理解を深めておく。 ④復習 (60分) プレゼンテーション作成のため、災害や犯罪における数値を使う情報を入手しておく。
	5	①授業テーマ プレゼンテーションの環境の準備 ②授業概要 Unit 4 プレゼンテーションの目的に合わせた視覚情報の提示の仕方を確認し、災害や犯罪について視覚情報を使ったプレゼンテーションをする。(E1 F2 I3 K2) ③予習 (60分) 災害や犯罪における数値を使う情報を入手し、プレゼンテーションドラフトを完成させておく。 ④復習 (60分) 災害や犯罪における数値を使ったプレゼンテーションをフィードバックをもとに改善する。

6	①授業テーマ Informative presentation: Type 1 列挙型プレゼンテーション ②授業概要 Unit 5 あるテーマに該当する事柄を順序良く説明する列挙型プレゼンテーションについて解説する。(E1 F2 K2) ③予習 (60分) 列挙型プレゼンテーションについて書かれたテキスト31、32頁を読んでおく。 ④復習 (60分) 列挙型プレゼンテーションについての動画を見直し、列挙型プレゼンテーションが何か説明できるようにする。
7	①授業テーマ Informative presentation: Type 1 列挙型プレゼンテーション ②授業概要 Unit 5 列挙型プレゼンテーションについて確認し、紙を利用した緊急避難シェルターについて動画を参考にしながら自身でプレゼンテーションする。(E1 F2 I3 K2) ③予習 (60分) 紙を利用した緊急避難シェルターについての動画を見て、何が列挙されているか明確にしておく。 ④復習 (60分) 緊急避難シェルターについての自身のプレゼンテーションを、フィードバックをもとに改善する。
8	①授業テーマ Informative presentation: Type 2 分類型プレゼンテーション ②授業概要 Unit 6 複雑な物事を事柄を順序良く説明する分類型プレゼンテーションについて解説する。(E1 F2 K2) ③予習 (60分) 分類型プレゼンテーションについて書かれたテキスト37、38頁を読んでおく。 ④復習 (60分) 分類型プレゼンテーションについての動画を見直し、分類型プレゼンテーションが何か説明できるようにする。
9	①授業テーマ Informative presentation: Type 2 分類型プレゼンテーション ②授業概要 Unit 6 分類型プレゼンテーションについて確認し、カナダ刑法における3つの犯罪分類についての動画を参考にしながら自身でプレゼンテーションする。(E1 F2 I3 K2) ③予習 (60分) カナダ刑法における3つの犯罪分類についての動画を見て、分類項目の内容を明確にしておく。 ④復習 (60分) カナダ刑法における3つの犯罪分類についての自身のプレゼンテーションを、フィードバックをもとに改善する。
10	①授業テーマ Informative presentation: Type 3 プロセス型プレゼンテーション ②授業概要 Unit 7 ある目的を遂行するために必要な手順を説明するプロセス型プレゼンテーションについて解説する。(E1 F2 K2) ③予習 (60分) プロセス型プレゼンテーションについて書かれたテキスト43、44頁を読んでおく。 ④復習 (60分) プロセス型プレゼンテーションについての動画を見直し、プロセス型プレゼンテーションが何か説明できるようにする。
11	①授業テーマ Informative presentation: Type 3 プロセス型プレゼンテーション ②授業概要 Unit 7 プロセス型プレゼンテーションについて確認し、テロが起こった際の取るべき行動についての動画を参考にしながら自身でプレゼンテーションする。(E1 F2 I3 K2) ③予習 (60分) テロが起こった際の取るべき行動についての動画を見て、手順の内容を明確にしておく。 ④復習 (60分) テロが起こった際の取るべき行動についての自身のプレゼンテーションを、フィードバックをもとに改善する。
12	①授業テーマ Persuasive presentation: Type 5 説得型プレゼンテーション ②授業概要 Unit 10 聴衆を説得して考え方を変えたり、具体的に行動を起こさせることを目的とした説得型プレゼンテーションについて解説する。(E1 F2 K2) ③予習 (60分) 説得型プレゼンテーションについて書かれたテキスト61、62頁を読んでおく。 ④復習 (60分) 説得型プレゼンテーションについての動画を見直し、説得型プレゼンテーションが何か説明できるようにする。
13	①授業テーマ Persuasive presentation: Type 5 説得型プレゼンテーション ②授業概要 Unit 10 説得型プレゼンテーションについて確認し、危機管理部署の設置を促す社内向けのプレゼンテーションを作成する。(E1 F2 I3 K2) ③予習 (60分) 社内で新たな企画を提案する動画を見て、動画で提案されていた内容を明確にしておく。 ④復習 (60分) 危機管理部署の設置を促す自身のプレゼンテーションを、フィードバックをもとに改善する。
14	①授業テーマ Persuasive presentation: Type 6 問題解決型プレゼンテーション ②授業概要 Unit 11 ある問題に対する解決策を論理的順序で説明する問題解決型プレゼンテーションについて解説する。(E1 F2 K2) ③予習 (60分) 問題解決型プレゼンテーションについて書かれたテキスト67、68頁を読んでおく。 ④復習 (60分) 問題解決型プレゼンテーションについての動画を見直し、問題解決型プレゼンテーションが何か説明できるようにする。
15	①授業テーマ Persuasive presentation: Type 6 問題解決型プレゼンテーション ②授業概要 Unit 11 問題解決型プレゼンテーションについて確認し、今後のサイバーセキュリティの問題と解決策についてのプレゼンテーションを作成する。(E1 F2 I3 K2) ③予習 (60分) 今後のサイバーセキュリティの問題と解決策についての動画を見て、動画で提案されていた解決策を明確にしておく。

	④復習 (60分) 今後のサイバーセキュリティの問題と解決策についての自身のプレゼンテーションを、フィードバックをもとに改善する。
関連科目	英語プレゼンテーション2 (RMGT3346)
教科書	Morita Akira. Winning Presentations: 8 Types of Successful Presentation. Seibido, 2018. ISBN:978-4-7919-3424-9 (『動画で学ぶ英語プレゼンテーション』成美堂)
参考書・参考URL	https://www.seibido.co.jp/np/code/9784791934249/
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に指示します。 ■オフィスアワー 開講時に指示します。
研究比率	危機管理領域と英語とのおおよその比率 (40% : 60%)

